

第33回 北九州市環境審議会

1. 日 時 平成24年12月18日（火）15:00～17:00
2. 会 場 ホテルクラウンパレス小倉 2階 香梅の間
3. 出席者（敬称略）
 - 会 長 浅野直人
 - 副 会 長 三宅まゆみ
 - 委 員 泉優佳理、岡俊江、北野久美、自見榮祐、土井智子、西道弘、西本祥子、樋口壯太郎、福丸清生、八記博春、吉塚和治（50音順）
 - 事 務 局 今永環境局長、松岡環境未来都市担当理事、吉田環境政策部長、山下環境監視部長、諫山循環社会推進部長、加茂野環境未来都市推進室長、柴田環境都市調整担当部長、櫃本環境国際戦略室長、内藤環境国際担当部長、石田アジア低炭素化センター担当部長、大原環境科学研究所長、佐藤総務課長、渡部環境広報担当課長、石井環境学習課長、作花環境保全課長、青柳監視指導課長、水口産業廃棄物対策室長、敷田循環社会推進課長、梶原災害廃棄物調整担当課長、藤本業務課長、安部施設課長、柴田スマートコミュニティ担当課長、平石エネルギー戦略担当課長、山本環境産業担当課長、塚本環境都市調整担当課長、久保環境国際戦略課長、小田アジア低炭素化センター担当課長、重岡事業化支援担当課長、佐々木特区プロジェクト担当課長、寺師環境科学研究所次長
4. 議 題
 - (1) 審議事項
 - ①北九州市環境基本計画策定について
 - ②北九州市環境影響評価条例の一部改正について
 - (2) 報告事項
 - ①石巻市の災害廃棄物受入れ状況報告について
5. 議事要旨
 - (1) 会長の挨拶
会長より挨拶及び最近の国の環境施策状況について話があった。
 - (2) 審議事項
 - ①北九州市環境基本計画策定について
事務局からパブリックコメントの結果及び事務局の考え方について説明があった後、審議が行われた。

②北九州市環境影響評価条例の一部改正について

事務局からパブリックコメントの結果及び事務局の考え方について説明があった後、審議が行われた。

(3) 報告事項

①石巻市の災害廃棄物受入れ状況報告について

事務局より報告があった後、質疑応答が行われた。

6. 議事録（要旨）

(1) 審議事項

①北九州市環境基本計画策定について

【会長】

それでは、これから議事を始めたい。前回の審議会において、北九州市環境基本計画の改定と北九州市環境影響評価条例の改正について、パブリックコメント実施の承認を頂いたので、本日はその結果について報告いただき、更にパブリックコメントを受けて手直しをすべき点は修正する形で、この計画と条例案について、皆さんにおまとめ頂きたい。

それでは、早速だが、環境基本計画の策定についてのパブリックコメントの実施結果と事務局の考え方をご説明いただきたい。

北九州市環境基本計画策定について、総務課長より説明

【会長】

委員の皆様方の中で只今のパブコメ及びそれに基づく修正等について、何かご指摘やこれまで気が付かなかったがこの点はどうか、という事があれば意見を述べて頂きたい。

教育関係については、パブコメを受けてかなり修正があったようだ。また、用語に関するパブコメについては、事務局の修正案のうち、修正内容に2～3点誤りがあるようだ。

【委員】

用語の説明で、新エネルギーと省エネルギーの所については、少し説明としては不十分であると感じる。後ほど修正案をお送りしたい。

【会長】

ありがとうございます。是非専門のお立場からご指摘を頂きたい。他にございませんか。

【委員】

日本語として表現を直したほうが良い点がある点があるので、後からお伝えしてもよいかな。

【会長】

是非それは宜しくお願ひしたい。

他になれば、上記意見については取り入れ、欠席委員からのご意見については、大き

くこれまでの筋を変えるようなお話が出た場合には、私の方で意見を出された方とよく話合いたいと思う。筋を変えるというような事ではなくて、内容が明確になるというような意味でのご意見であれば極力ご意見を受けて必要な手直しを行いたい。その点も含めてこの最終的な答申を市長に出す事について私の方に御一任頂けますか。

【委員全員】

異議なし。

【会長】

皆様からお認め頂けたため、最終的な答申の文章については会長に一任を頂いたということで、この後の作業を進めることにしたい。どうも有難うございました。

それでは、北九州市環境影響評価条例の一部改正について、パブコメを行っているため、その結果とそれについての事務局の考え方をまずご説明頂きたい。

②北九州市環境影響評価条例の一部改正について

北九州市環境影響評価条例の一部改正について、環境保全課長より説明

【会長】

この段階で何かご意見ご質問などはあるか。

【委員】

挙手なし。

【会長】

よろしいか。北九州市環境影響評価条例は元々が良く出来ているので、大きく変える部分がなく、運用の問題はあるだろうが、配慮書の部分だけである。

それでは特に本日もご出席の委員からはご意見がなく、締め切りは本日はないため、この後、欠席の委員から何か意見があればその取り扱いについては先程と同様、私に一任を頂いてよろしいか。

【委員全員】

異議なし。

【会長】

今後意見が出た場合にはその取り扱いは私の方で決めさせて頂きたいと思う。その上で最終的に、方針を取りまとめることにする。

後は、報告事項ということで、石巻市の災害廃棄物受け入れ状況についてご報告を頂きたい。

(2) 報告事項

①石巻市の災害廃棄物受け入れ状況報告について

石巻市の災害廃棄物受け入れ状況報告について、災害廃棄物調整担当課長より説明

【会長】

只今のご報告について委員の皆様方からのご質問、ご意見はないか。

【委員】

表現に関することであるが、3 ページ、4 ページの日明工場の 10 月の所は焼却を行っていないということでハイフンになっている。表下に説明があった方が丁寧ではないかと思う。

【事務局】

了解した。

【会長】

他にご意見あるか。

【委員】

同じく 3 ページの日明工場の飛灰について、特に心配なのは飛灰の数値であるが、3 工場での数値を比較すると数値が出ている 4 回とも日明工場の数値が高くなっている。何か考えられる要因などあれば、教えて頂きたい。

【事務局】

焼却炉には色んな形式があるが、日明工場は皇后崎工場と同等のストーカー炉という形式で、新門司工場は、熔融炉のシャフト式の直接熔融炉である。ストーカー炉と熔融炉とで炉内を流れる風の風量や風圧、風速といったものが違うため、飛灰の発生量が異なる。焼却の全体量と飛灰の発生量の割合の関係から、相対的に見て日明工場が飛灰の割合が高くなる傾向的にある。

【会長】

よろしいか。要するに、そこにある全体値としての放射性物質の量から出るというので、灰が少なくなれば、それだけ残りの濃度が高くなるという意味である。他にご質問はあるか。

【会長】

それでは、石巻市の災害廃棄物受け入れの状況について、市民に対する P R や放射線量を十分考えて頂き、特に本審議会としてのご意見は特にないということによろしいか。それでは、本日予定しておりました議事、報告は以上である。

【事務局】

本日議論頂いた環境基本計画及び環境影響評価条例については、事務局にて速やかに作業を進め答申として取りまとめさせて頂く。北九州市議会議員選挙が来年 1 月 27 日に行われる関係で、北九州市議会から本審議会委員に就任を頂いている、会長代理ほか 3 委員は議員任期の満了を持って環境審議会の委員も一旦辞任ということになる。会長代理に代表して、ご挨拶をお願いしたい。

【会長代理】

皆様、お疲れさまでございます。この環境審議会、本当に素晴らしいメンバーの方々がお出席でございまして、其々のお立場で積極的に、特に会長の上手な進行と言いますか、テンポも良く、また、非常に内容的確な進行によりまして、本当に素晴らしい審議会に私共 4 人参加をさせて頂きました事を心から感謝を申し上げます。多くの事を学ばせて頂きました。其々の立場でこの計画の中に入った内容に関してしっかりと実現に向けて、努力が出来ればと思っています。

また、執行部の皆様には、この 1 年間、がれきの問題で本当に大変な思いをしながら、そしてこういった資料等お作りを頂きましたこと、心から感謝を申し上げる次第でございます。環境審議会のメンバーの皆様、そして執行部の皆様がこれから益々ご発展されます事を心より祈念を申し上げまして、代表と言っては大変恐縮ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。

【事務局】

どうも有難うございました。

今回の審議会は本年の最後になるため、年末の挨拶も兼ねて局長の方から一言ご挨拶させて頂く。

(3) 環境局長挨拶

環境局長でございます。年末ですので、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

1 年間、本当に委員の皆様には活発なご議論を頂きまして有難うございました。また、的確なご指導、ご意見頂きまして、本日、環境基本計画の答申案が取りまとめることが出来ました。本当に有難うございました。

この環境基本計画は、私共環境行政の柱となるものでございます。様々な戦略プロジェクトも載っておりますし、また、PDCA サイクルということで来年以降も進捗状況をご報告させて頂きたいと思っております。その折にはまたご指導をお願いしたいと思います。

また、先程から出ておりますが、災害廃棄物の受け入れにつきましては今年度の環境局の最大の事業でございました。その中で、環境審議会の中でのご議論はなかったわけですが、会長には座長として、それから一部の委員の皆様にも受け入れの検討委員会に出席頂きました。また、会長にはタウンミーティングでも司会をお願い致しまして、反対する方の非常に多い中で、的確にやって頂きました。重ねてお礼を申し上げたいと思っております。

来年度は市制 50 周年ということで環境局の方でも ESD 関連の国際会議等も行うようにしております。ただ、やはり原点に戻って、市民との協働、連携、こういったものを一層強めたいと思っております。

実は平成 22 年、23 年と一人当たりのごみ量がずっと減っていったのですが、それが下げ止まりまして、23 年度は若干増えて今まで政令指定都市で一番だったのが広島市に抜かれました。1g ではありますが、そういう状況にもございますし、リサイクル率も下げ止まっているということで、もう一度市民と一緒に環境活動を進めたいと思っております。そういった市民との協働によって、基本計画の内容を着実に実施するということが世界の環境首都に向けての一番大事なことではないかと思っております。私共も着実な実施をしていきたいと思っておりますので、今後共委員の皆様方にはご指導、ご協力をお願いしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

どうも有難うございました。